

令和元年度が終わりました。

文責 学校長



～修了式・退任式を行いました。～

本日の修了式をもって平成31年度・令和元年度が終了しました。新生厳木高校の2年目も生徒諸君は様々な挑戦をし、「**厳木の奇跡**」を見せてくれました。大いに感謝しています。また、今年度は、5月の新元号への移行、8月の豪雨災害、9月の台風被害、そして2・3月の新型コロナウイルス感染拡大等々様々なことがあった一年でした。特に、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として様々なイベント・大会が中止となり、本校アーチェリー部の全国選抜大会も取りやめとなりました。3月の休校措置で生徒諸君には登校できない日々が続き、ストレスがかかっていると思いますが、明日からの春休みも不要不急の外出や集まりを控え、引き続き感染拡大防止に努めてください。



1 令和2年度春の人事異動で16人の先生方が転・退任されます。

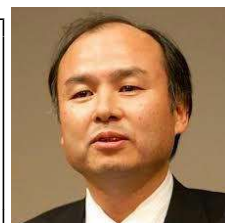
本日の新聞でも発表されているとおり、今年度末で私を始め、16名の先生方が転・退任されます。転任される先生方のメッセージを心に留め、4月からの新年度の更なる飛躍につなげてほしいと願っています。

今春の人事異動で転退任される先生は以下の先生方です。※敬称略

- | | | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| ○藤田 務 (日本史) | ○久富 浩 (国語) | ○平野佐矢子 (家庭) | ○村岡美保子 (養護) | ○平田ほのか (事務) |
| ○我如古裕子 (音楽) | ○小高 拓 (数学) | ○土井大輔 (数学) | ○野口健太 (保体) | ○中田ゆうり (理科) |
| ○松本美智子 (図書) | ○米倉真紀 (介助) | ○吉村真理 (支援) | ○平田優子 (支援) | ○梅野和子 (支援) |

2 今日の一言・・・孫正義と宮崎敏郎（佐賀県出身）の言葉です。

- 苦しい時こそ、船と仲間を命がけで守れる人でなければ、大将になってはいかんのです。試練なんて黙っていてもやってくるものなんです。
- 他の人間にできることならば、同じ人間である僕にできないはずはない。僕はそう思うんです。
- 努力しても報われないなあと感じ嘆く時、大抵の場合は、まだ本当の努力をしていない。



【解説】下記の説明にもあるように**坂本龍馬の生き方に触発されて波乱万丈の青春時代を送り、日本のトップ企業の会長にまで上り詰めた孫正義氏の、自身のチャレンジ人生に裏付けられた言葉です。**

【孫正義について】1957年（昭和32年）生まれ。佐賀県鳥栖市で幼少期を過ごす。73年に久留米大学附設高等学校に入学。高校入学後、家庭教師に薦められた**司馬遼太郎の小説『竜馬がゆく』を愛読し、脱藩に憧れて渡米を決意**し、夏休みを利用して米国にて語学研修のため4週間の短期留学。74年に久留米大学附設高等学校を**中退**し、2月に渡米。米国ホーリー・ネームズ・カレッジの英語学校に入学し、サンフランシスコのセラモンテ高等学校2年に**編入学**。3年生、4年生へと飛び級し、高校卒業検定試験に合格したため、3週間で**退学**、翌75年にホーリー・ネームズ・カレッジに入学。77年、カリフォルニア大学バークレー校経済学部の3年に**編入学**。79年、シャープに**自動翻訳機を売り込んで得た資金1億円**を元手に、米国でソフトウェア開発会社「Unison World」を設立。**インベーダーゲーム機を日本から輸入し、米国で販売**。80年にカリフォルニア大学バークレー校を卒業。日本へ帰国後、会社を設立するために福岡市博多区雑餉隈に事務所を構えた。**ソフトバンクグループ創業者で、ソフトバンクグループ代表取締役会長兼社長、ヤフー取締役、アリババ取締役、福岡ソフトバンクホークス取締役オーナー**などを務める。（参考：「Wikipedia」より）

- なかなか一軍に上がれなくて、厳しい時間でした。でも落ち込んだ姿は周りにも見せたくなかった。空気を悪くすることはしたくなかったし、ここで腐ったら、野球人としても人間としても終わりだって思っていましたから。
- どんな場面でも一生懸命プレーして、それでダメだったらしょうがない。腐らずにやることをやれば、きっと誰かが見てくれる。



【解説】本校OBで、プロ野球横浜DeNAベイスターズの内野手として活躍している宮崎敏郎選手の言葉です。入団から数年の間は、毎年入団してくる新人とのポジション争いになかなか出場のおに恵まれなかった時期がありましたが、それでも腐らず直向きに努力を重ねていた時期の心境を語った言葉です。

【宮崎敏郎について】本校の大先輩です。本校在学中には、1年生の春から投手でベンチ登録。2年生の夏から「4番・投手」を務めるとともに、公式戦で**通算24本塁打**を放っています。日本文理大学への進学後には、1年生の秋から三塁手のレギュラーに定着。九州大学野球のリーグ戦では、2度の**首位打者**、3度の**MVP**、**ベストナイン**を獲得しています。また、2年生から2年続けて**全日本大学野球選手権に出場**。3年生の時には、5番打者として、チームのベスト8進出に貢献しました。4年生の時には主将も務めています。2012年に社会人野球の**セガサミー**から内野手として**ドラフト6位**（契約金3500万円、年俸850万円）で横浜DeNAベイスターズに入団。愛称は「**ハマのプーさん**」。17年に**首位打者**、18年に**ベストナイン**と**ゴールドグラブ賞**のタイトルを獲得しました。（参考：「Wikipedia」より）

3 今日の一冊・・・今回の一冊は、小森陽一原作の『海猿』です。

海上保安庁・第七管区(九州)の新人海上保安官・仙崎大輔。彼は刻一刻と迫る時間との戦いの中、先輩たちと命をかけながら、海難者の救助活動に勤しんでいた。毎日がむしやりに救助活動を行って行く中で、先輩たちの隠された過去や海難救助への想いに触れながら成長していく大輔。その後、ある事件がきっかけで自分の仕事の意義や存在に疑問を抱いてしまうも、恋人の浦部美晴や先輩に助けられ、再び海難救助に立ち向かっていく決心をする。一皮むけた大輔は、新たなステージでさらなる成長を続けていく。



【解説】佐賀を代表する古い作家は多いのですが、最近の作家の作品として、今回は諸君も知っているであろう漫画の原作者を紹介しします。代表作は『海猿』です。内容は、海上保安官である仙崎大輔を主人公として、海難救助を中心とした海上保安官の活躍を描いています。1999年から2001年にかけて小学館の『週刊ヤングサンデー』に連載されていました。漫画を原作として複数回実写化されており、02年と03年にNHKで単発テレビドラマ化された後、04年にフジテレビ制作で実写映画化しました。更に05年から12年にかけて映画(パート1)の続編として物語が連続したテレビドラマと映画3作品が制作され、8年に亘るシリーズ作品となりました。

【作者・小森陽一について】佐賀県立伊万里高等学校を経て大阪芸術大学芸術学部映像学科卒業。東映助監督、テレビ製作会社勤務を経て作家活動を始める。作品のテーマとして海上保安庁を取り上げることが多く、原案を提供した『海猿』は後にテレビドラマ化、実写映画化もなされた。2008年に海洋に関する創作活動の功績を讃え、第1回海洋立国推進功労者表彰を受賞した。映像監督としても活動している。主な原作に「極リーマン」「トクキュー!!」「出場!!ハイパーレスキュー隊」「S-最後の警官-」「BORDER66」がある。(参考:「Wikipedia」より)

4 日本全県味めぐり・・・第48回は故郷佐賀県です。

佐賀県のグルメと言えば、「佐賀牛」「呼子いかの活きづくり」「シシリアンライス」「いかしゅうまい」を挙げたい。まず「佐賀牛」とは、全国に約150程ある「〇〇牛」といった牛の銘柄の中で、全国トップクラスの高品質の牛肉として知られています。JAグループ佐賀管内肥育農家で飼育された黒毛和種で、(社)日本食肉格付協会の定める牛取引規格の最高の肉質である「5」等級および「4」等級のBMS「No.7」以上を「佐賀牛」と呼び、それ以下を「佐賀産和牛」と分けてブランド化しています。次に「呼子いかの活きづくり」。呼子産のケンサキイカ(3月～9月)やアオリイカ(12月～3月)を手早く活きづくりにした職人の技が光る一品です。1杯をさばく時間は30秒程度。この早技と新鮮さによって、一般的には白いイカの刺身が、透明でみずみずしく出来上がります。呼子町では活きづくりの他にもゲソ天、イカ飯、イカの卵味噌汁など様々なイカ料理が楽しめます。そして、「シシリアンライス」。



シシリアンライスの発祥は、昭和50年ごろ、佐賀市中心の商店街の喫茶店で誕生したとされています。作り方はシンプルで1枚のお皿に炊き立てごはん+炒めたお肉+サラダ+最後にマヨネーズが基本形です。名前の由来は、諸説いろいろありますが、佐賀のお隣の長崎に「トルコライス」というメニューがあり、佐賀と長崎がお隣であることから、トルコライスに対抗して「トルコ」のお隣の「シリア」からシリア…シシリア…シシリアンライス…と変わって行き名づけられたのではないかと多くの喫茶店のマスターは言っています。最後に「いかしゅうまい」。佐賀・呼子のレストランでは、地元で水揚げされるイカの活き造りが主力メニュー。まさに鮮度が命の料理です。ところが、イカは生のままでは水揚げしてから1日も持たない繊細な魚介のため、どうしても余ってしまう事もあります。余ったからとはいえこのまま無駄にはしたくない、イカから新たな製品を生み出そうと、料理人は新たな商品作りをはじめました。そして何回も試行錯誤を重ねた結果、完成したのが「いかしゅうまい」です。蒸しあげると、華のように開き見栄えがよく食感もおもしろい一品です。(参考:「郷土料理ものがたり」)

【松露饅頭】(大原・宮田)こし餡をカステラ生地で包んだ唐津の銘菓。薄めの皮にさっぱりとした甘さの餡がぎっしりと詰まり、一口サイズでお茶請けにぴったり。日本三大松原である「虹の松原」に生える卵型のきのこ「松露」に似ていることに因んで名づけられました。戦前までは食用されていた松露ですが、現在では実物を見たことある人はほとんどいない幻のきのこになっています。



【佐賀錦】(村岡屋)小豆や栗が入った「浮島」と呼ばれるふんわり生地を美しい層をなすバームクーヘンで挟んだ和洋折衷スイーツです。地元の織物である「佐賀錦」の気品ある華やかさと風合いをイメージして作られた棹菓子で、好きなサイズに切っていただきます。「洋風であり和菓子であり、昔からある大好きなお菓子」と佐賀県民に親しまれ、佐賀の手土産、堂々の1位に。



5 保護者の皆様へ・・・『校長室の窓から』も最終回となりました、

このたびの人事異動により4月から武雄高校に転任となりました。教頭として2年、校長として3年の計5年間厳木高校にお世話になりました。新高校スタートとともに始めた校長通信『校長室の窓から』も今回をもちまして終了となりますが、転任先でも頑張って発行し続けたいと思います。2年間校長の戯れにお付き合いいただき誠にありがとうございました。保護者の皆様、今後とも厳木高校をよろしく願います。